



大阪・関西万博での金屋町に伝わる民謡「弥栄節」の披露

住民の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより自治会活動に格別なご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本会では、能登半島地震で甚大な被害を受けたことから、災害に備えるため、昨年度から防災体制の強化を新たな柱として設けたところで、地区防災計画の策定、届出避難所への登録、より実践的な避難訓練の実施など、行政と連携した取り組みを行っています。災害時には、近所の方々と力を合わせて行動することが不可欠です。で、日ごろから顔を合わせ、信頼関係を築いていただくことが重要です。住民の皆様におかれましては、「防災」を単なる災害への備えだけではなく、地域の絆を深めるきっかけにしたいと考えています。

また、加速する少子高齢化



会長あいさつ

高岡市連合自治会
会長 角玄 富雄

や人口減少によって社会構造が急速に変化しており、地域活動も様々な課題に直面しています。これらを克服するため、これまでの良い所は残しつつ、新しい考え方や方法を取り入れるなど、我々連合自治会も変わっていかなければならないと考えております。

各種団体との連携・協力体制を強化し、多機能地域自治を導入するなど、地域活動の効率化と負担軽減を図り、持続可能な地域活動を推進してまいります。

本会といたしましては、引き続き各地域の活性化、住民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、6月の高岡市長選挙で新たに就任された出町讓市長と、しっかりと連携してまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。まして、挨拶いたします。

役員・会員の紹介 (令和7年度)



会長
角玄 富雄(戸出)



副会長(総務)
宇波真一郎(定塚)



副会長
矢竹 有至(福岡)



副会長
藤田 晴久(西条)



副会長
森田 和夫(福田)



理事(会計)
中井 隆行(二上)



理事
腰 雅信(野村)



理事
小栗 久雄(二塚)



理事
月安 幸三(木津)



理事
前田 義弘(東五位)



理事
杉本 孝之(国吉)



理事
坂 廣志(伏木)



理事
村上 祐崇(大滝)



監事★
石坂 守(能町)



監事★
江守 裕(牧野)



監事
道谷 悦一(中田)



相談役
杉江 幸男



相談役
浦田 一郎



会員★
山崎 勝久(平米)



会員
北林 和正(下関)



会員
鍋谷 博秀(博労)



会員
西田 公信(横田)



会員
三本松誠身(川原)



会員★
山口 泰祐(成美)



会員
谷 晴雄(守山)



会員
関口 謙(佐野)



会員
水上 哲(小勢)



会員
伏江 努(立野)



会員★
澤田 哲郎(石堤)



会員
牧野 光男(古府)



会員★
増井 修(太田)



会員
佐伯 正則(豊岡)



会員
玉井 邦昭(北殿若)



会員
奥村 茂夫(堤戸)



会員★
中野 勝二(山王)



会員
小崎 直之(西五位)



会員
新畑 紀夫(五位山)



会員
小山 孝一(赤丸)

◎印は新役員
★印は新会員

編集後記

◆ 去る6月29日に、高岡市長選挙が行われ、新市長が誕生しました。我々役員・会員一同も気持ちを新たに、新しい市長と連携し、住民が安心して暮らすことのできる地域を目指して取り組んでまいります。

◆ 本稿では、地域活性化の取り組み事例として、防災力の強化、多機能地域自治や、若者地域活動支援事業について、ご紹介しました。各地域でも、自ら課題解決を行うために、これらの事例を参考にしたいと思っております。

◆ 結びに、ご多忙のところ、取材等に応じていただきました方々に深く感謝申し上げます。

編集委員 中井 隆行(記)
腰 雅信
月安 幸三
前田 義弘



市長あいさつ

高岡市長 出町 讓

市連自治会だより第20号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

6月29日の高岡市長選挙において当選し、高岡市長の重責を担わせていただくことになりました。ご期待に応えるべく、身を引き締めて全力で市政に取り組んでまいります。

私は、「市民主体のまちづくり」、「税金の使い道」、「財源確保」について、令和の時代に合わせた新たな手法へ挑戦しながら、市政運営をチェンジしてまいります。

最優先すべき課題は、令和6年能登半島地震からの復旧・復興です。発災から1年8カ月、今も多くの地域の皆様が、生活再建や液化化等で不安を抱えておられます。現地に向き、こうした皆様の生の声を聞いて、行政として何ができるのかを検討し、取り組んでまいります。

本市は今、公共交通、医療・福祉、子育て・教育、産業振興など、課題は山積してありますが、市民の皆様の声に耳を傾け、その想いを実現するため、しっかりと課題に向き合いながら、誰もが満足感のある「住みたいまち・高岡」「みんな笑顔の高岡」の実現に向け、施策・事業を展開してまいります。高岡市連合自治会会員各位をはじめ、市民の皆様にはご理解とご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、高岡市連合自治会の益々のご発展と、地域住民の皆様のご健勝とご活躍をご祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

令和7年度

定期総会の開催

5月28日、ホテルニューオータニ高岡において定期総会が開催されました。

総会では、令和6年度事業報告・収支決算報告、役員の補充、令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)が審議され、原案どおり承認されました。

令和6年度の主な活動内容及び令和7年度の事業計画は次のとおりです。

令和6年度に実施した主な事業

- ・危機管理課との意見交換会(4・6・7月)
- ・定期総会開催(5月)
- ・自治会アンケート調査(7月)
- ・結ネット担当者交流会(7月)
- ・市当局との懇談会(7月)
- ・「市連自治会だより」発行(9月)
- ・研修会「多機能地域自治の取り組みについて」(10月)
- ・県外研修視察(10月)
- ・県西部地域自治会長意見交換会(11月)
- ・高岡市に対する要望書提出(11月)
- ・富山県知事に対する要望書提出(12月)
- ・議会傍聴(高岡市議会12月定例会)(12月)
- ・新春懇談会(1月)
- ・議会傍聴(高岡市議会3月定例会)(3月)



地域課題に挑む 特集①

能町校下での防災への取り組み

能町校下連自治会長

石坂

守

昨年元日に起きた能登半島地震により、当能町校下の吉久地区において液化化という重大な被害が発生しました。

そこで、能町校下の防災力の強化を目的に、高岡市危機管理課及び野村地区防災士会のご指導とご協力を頂き、当校下防災士 松田 昭氏を会長として、昨年10月22日に防災士12名による「能町地区防災士の会」を立ち上げました。



全会員のレベルアップを図るため、毎月1回、研修会を開催して参りました。具体的には、10月・12月は、高岡市で発行している「ハザードマップ」7種類のうち、能町校下で発生する可能性の高い3種類(津波・地震・洪水)の理解を深めました。1月からは、当防災士の会及び連合自治会と協議しながら作成した「能町校下防災計画」の骨格を、全会員で確認しました。さらに、災害時の実践的な知識として、2月には「様々なロープ結び」、3月には「三角巾の使用法」について学びました。これで、全会員が防災士としての最低レベルに達したと思っております。

また、今年度から新たに8名の防災士が加わり、20名で研修会を行っています。今後も、校下内での会の知名度アップを図りながら、各自治会での防災訓練に参加するなど、能町校下全体の防災力強化を図っていきます。

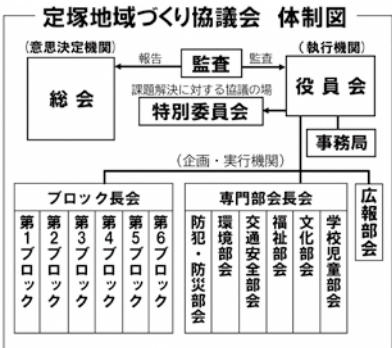
地域課題に挑む 特集②

定塚地域づくり協議会の設立

定塚校下連自治会長

宇波 真一郎

自治会と各種団体の取り組み事業や行事の調整を図り、地域の諸問題を地域で解決していくことを目的として、本年5月に「定塚地域づくり協議会」を設立しました。



設立に向けて、自治会と各種団体の活動を一覧に整理する「棚卸し」を行ったところ、各団体が事業や行事の消化に精一杯で、特定の役員に過大な負荷をかけている状況が明確になりました。

そこで、目的の似通った事業や開催時期の重なった行事を調整することで、防災運動会を共同で開催するなど役員負担を減らしたいと考えています。また、これからは大きな団体が小さい団体を支え、補完し合うしくみが必要になると思っており、役員の選出方法を根本的に見直すために特別委員会を設置しました。

まずは、40町内を6つに分けたブロック部会と、各種団体の役割に応じた「防犯・防災部会」「福祉部会」など6つの専門部会を設け、各団体の行事予定を一つの広報誌に一元化して全戸配布することとしました。

令和5年度から準備を進めてきたなかで、座談会の参加者の中から新たな人材を協議会に招くことができたのが、今後に繋がる第一歩になったと思っています。これから試行錯誤しながらの挑戦は続きますが、地域の皆様と協力して、安心・安全な定塚地区を目指してまいります。

令和7年度の主な事業計画

I 高岡市連合自治会は、市勢の発展と住民が安心して暮らすことのできる地域社会づくりに寄与するため、各地区連合自治会の連携を基に、行政及び関係団体との相互協力・協調を図り、少子高齢の進展に危機感を持ちながら持続可能な地域活動を目指して、次の取り組みを行います。

II 事業内容

- ① 防災体制の強化
- ② 高岡の魅力を活かしたまちづくりへの提言
- ③ 防犯・交通安全の推進
- ④ 地域福祉の増進
- ⑤ 環境保全・美化運動の促進
- ⑥ 持続可能な地域活動の実現に向けた取り組み

栄誉に輝く

■高岡市功労者表彰

■富山県自治会連合会会長表彰

橋本 善明 氏(能町)	増井 俊一 氏(太田)
杉本 孝之 氏(国吉)	橋本 善明 氏(能町)
牧 隆 氏(成美)	和田 徹 氏(平米)
故 大庭 和之 氏(野村)	牧 隆 氏(成美)
橘 信一 氏(石堤)	牧 隆 氏(成美)
牧野 光男 氏(古府)	山崎 久榮 氏(赤丸)
橘 信一 氏(石堤)	

地域課題に挑む 特集③

若者地域活動支援事業「もしマルシェ」の開催

守山地区連自治会長

谷

晴雄

守山地区では、祭りやイベントなど住民が交流する機会が減り、地域内の繋がりの希薄化に危機感を感じていました。新たな賑わいを創出したいとの思いから、令和6年10月に守山地域交流センターで、地域参加型コミュニティマルシェ「もしマルシェ」を開催しました。



この事業は若い世代の住民が中心となり実行委員会を立ち上げ、若者地域活動支援補助金を活用しながら企画・運営を進めました。地域にゆかりのある団体や業者の方々にも協力いただき、キッチンカーや飲食コーナーのほか、ハンドメイド作品の販売、こども向けワークショップ、制服交換会、吹奏楽、落語やマジックなど、盛りだくさんのイベントとなり、300名を超える来場者で賑わいました。

イベントを通して感心したことは、若い世代ならではの準備・運営方法の工夫です。土曜や日曜に仕事の方が多く、顔を合わせて話し合う機会が限られる中で、スマートフォンによる情報共有や、当日スタッフ用の分かりやすいマニュアル作りなど、地域活動における担い手不足解消のヒントを見ることができました。また、地元を盛り上げたいと思う若い世代のアイデアが共感を生み、多世代間の交流につながるなど、地域の絆を育むことの大切さを改めて感じました。

今後も、若い世代と協力しながら、「守山に住んでいてよかった」と感じられる活力ある地域を目指していきたいと思っています。